

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

### ・全国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターナシティA棟） ☎(03) 5783-0626（代）
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751（代）
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676（代）
東京支店	〒110-0016	東京都台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル7階） ☎(03) 5812-6331（代）
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811（代）
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311（代）
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451（代）
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537（代）
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191（代）
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772（代）

### ・電動工具ご相談窓口 —— お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター **フリーダイヤル 0120-20 8822**（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00）

電動工具ホームページ —— <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



602  
部品コード C99152101

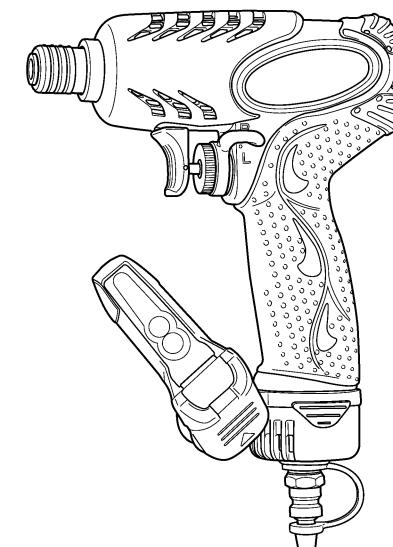
# Hitachi Koki

## 日立高圧エインパクトドライバ

### WH 12H

### 取扱説明書

このたびは日立高圧エインパクトドライバをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



HITACHI

## 目 次

	ページ
高圧エア工具の安全上のご注意	2
各部の名称	7
仕 様	7
標準付属品	8
別 売 部 品	8
用 途	11
作業前の準備	11
ご使用前に	12
使 い 方	14
保守・点検	19
エアコンプレッサと作業の速さ	21
ご修理のときは	22
全国営業拠点	裏表紙

### △警告、△注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

**△警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**△注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

**注**：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

## 高圧エア工具の安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### △警 告

#### 作業前

- ① 保護メガネを使用してください。
  - 作業中は保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。
  - まわりの人にも保護メガネをかけさせて下さい。締め損じたねじ等がはね返り、目に当たると、けがの原因になります。
- ② エアコンプレッサ以外の動力源は使用しないでください。
  - エア工具は、エアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(酸素、アセチレン、プロパンなど)を使用すると、爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 高圧釘打機用エアコンプレッサと、専用の高圧エアホースを使用してください。
  - 本機は、使用圧力を一般圧のエアインパクトドライバより高く設定しています。高圧釘打機用エアコンプレッサと専用の高圧エアホースを使用してください。
  - 本機およびこれらのエアコンプレッサ、エアホースのエアプラグ、エーソケットも専用となっており、一般圧のものと接続できないようにしてありますので、改造しないでください。これら以外のものを使用すると事故の原因になります。
- ④ 本機の騒音や排気空気から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。
- ⑤ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- ⑦ エアホースを接続する前に、次の点検をしてください。
  - ねじ類の締付けがゆるんでいないこと。
  - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
  - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

## ⚠ 警 告

### ⑧ エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- ・引金に手を触れない。
- ・回転部(アンビル、ビット)を人体に向けない。  
誤って動作した場合けがの原因になります。

### ⑨ 工具類を取り付ける前に、エアホースを接続し、次の点検を行ってください。

- ・エアホースを接続しただけで、アンビルやスリーブが動作しないこと。
- ・エアホースを接続しただけで、本機内部のエアモーターなどの作動音がしないこと。
- ・空気漏れや異常音がしないこと。

異常のあるまま使用すると、けがや本機の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

### ⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、けがなどの事故の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

### ⑪ 工具類は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

確実でないと、はずれたりして、けがの原因となります。

### ⑫ 用途に合った作業に使用してください。

- ・本機は木工用ネジ(ビス)の締付け、および、ゆるめ作業を目的とした工具です。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。

### ⑬ 子供を近づけないでください。

- ・作業者以外、エア工具やエアホースに触れさせないでください。けがの原因になります。
- ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

### ⑭ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。

### ⑮ 作業する箇所に、内部配線や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

- ・作業箇所に埋設物があると、ねじ等が触れ、感電・漏電・ガス漏れ等の事故の原因になります。

## ⚠ 警 告

### 作業中

#### ① 指定の空気圧力で使用してください。

・本機の使用空気圧力範囲は1.76~2.26MPa{18~23kgf/cm<sup>2</sup>} です。この範囲内で使用してください。2.26MPa{23kgf/cm<sup>2</sup>} を超えた空気圧力で、使用すると、本機の破裂や損傷の恐れがあり、けがの原因になります。

#### ② 使用中は、ビットなどの回転部を人体に向けたり、手や顔などを近づけないでください。

- ・けがの原因になります。

#### ③ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

・可燃性の液体やガス(シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など)のある所で、エア工具やエアコンプレッサを使用しないでください。  
空気といっしょに吸引圧縮され、爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

#### ④ ねじを締めるとき以外は、引金に指をかけないでください。

- ・引金に指をかけて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。

#### ⑤ 次の場合は、エアホースをはずし、圧縮空気を抜いてください。

- ・使用しない場合や作業中断時、使用後。
  - ・点検・修理・調整などの場合。
  - ・ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・エア工具を移動する際や手渡しする場合。
- 誤って本機が作動し、けがの原因になります。

#### ⑥ 引金に指をかけた状態でエアホースをはずさないでください。

- ・誤って本機が作動し、けがの原因になります。

#### ⑦ 作動中はまわりの人々に注意してください。

- ・締め損じたねじ等が当たる恐れがあり、けがの原因になります。
- ・高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。  
機体や材料などを落としたとき、事故の原因になります。

#### ⑧ 使用中は、振り回されないよう本機を確実に保持してください。

- ・確実に保持していないと、けがの原因になります。

## ⚠ 警 告

### ⑨ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。  
転倒してけがの原因になります。
- ・高所作業のときは、ねじ締め作業中に落ちることのないように、十分足場の安全性を確認してください。  
けがの原因になります。

### ⑩ 屋外での作業は、次のことに注意してください。

- ・高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに固定してください。  
不意にエアホースを引っ掛けたりした場合、けがの原因になります。
- ・屋根などの斜面でねじを締めるときは、下から上へ向かって前進しながら作業してください。  
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
- ・床などの水平面でねじを締めるときは、前進しながら作業してください。  
後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
- ・壁などの垂直面にねじを締めるときは、上から下へ作業してください。

### ⑪ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・エア工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、まわりの状況など、十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れているときは、使用しないでください。

### ⑫ エアホースをつかんで本機を移動しないでください。

### ⑬ フックを使用するときは、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

- ・誤ってビットなどの工具が回転し、けがの原因になります。

### ⑭ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- ・内部の圧縮空気で破裂の恐れがあり、けがの原因になります。

### ⑮ 使用中、本機の調子が悪かったり、異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。

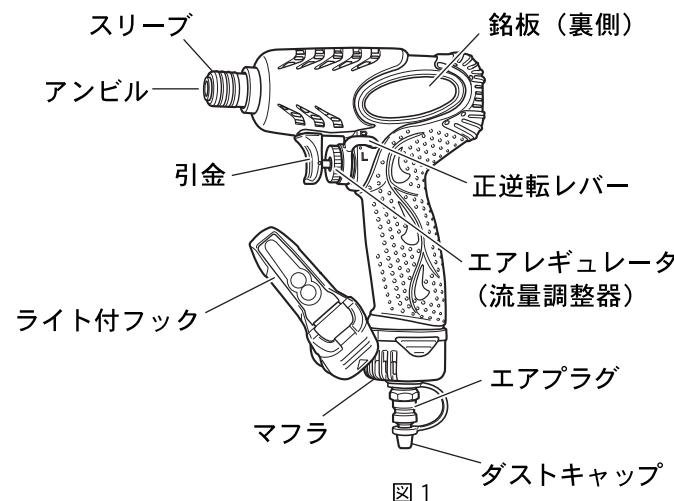
- ・そのまま使用すると、けがの原因になります。

## ⚠ 警 告

### 作業後

- ① 作業後は、必ずエアホースをはずしてください。
- ② エア工具やエアコンプレッサ、エアセットは直射日光に長時間当てたまま放置しないでください。
- ③ エア工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業していただくために、エア工具は常に手入れをし、清潔に保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ④ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑤ 部品をはずしたり、改造をしないでください。
  - ・安全性が損なわれ、けがの原因になります。
- ⑥ エア工具の修理は、専門店に依頼してください。
  - ・この製品は改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

## 各部の名称



## 仕様

使用空気圧力 1.76~2.26 MPa{18~23 kgf/cm<sup>2</sup>}

能 力 木工用ネジ(ビス) 径 3.5~5.6 mm

無負荷回転数 12500 min<sup>-1</sup>{12500 回/分}

(2.26 MPa{23 kgf/cm<sup>2</sup>}時)

製品の大きさ 長さ146 mm×高さ212 mm×幅51 mm(フックを除く)

質 量 0.95 kg(フックを除く)

ビット挿入寸法 6.35 mm(六角の二面幅寸法)

使用エアホース 日立高压エアホース

内径5 mm-長さ10 m, 20 m, 30 m

内径6 mm-長さ10 m, 20 m, 30 m

## 標準付属品

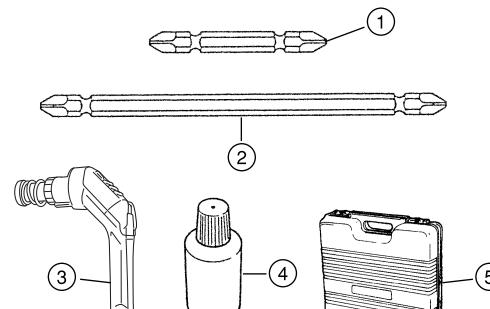


図 2

- ①プラスドライバビット ..... 1本  
(No. 2、長さ65 mm)  
②プラスドライバビット ..... 1本  
(No. 2、長さ150 mm)  
③ライト付フック ..... 1個  
④油さし ..... 1個  
⑤ケース ..... 1個

(別売部品は生産を打ち  
切る場合があります。)

## 別売部品

### 1. プラスドライバビット

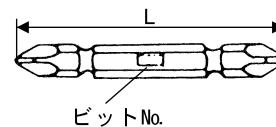
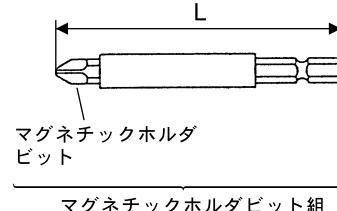


図 3-1

ビット No.	L (mm)	コード No.
No. 2	45	983005
	65	983006
	110	983007
	150	983008
No. 3	45	983010
	65	983011
	110	983012
	150	983013

### 2. マグネットチックホルダビット



マグネットチックホルダビット組

品名	L(mm)	コード No.
マグネットチックホルダビット組	92	959080
マグネットチックホルダビット	25	959082

図 3-2

### 3. ビットピース………コードNo.996184

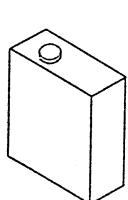


図3-3

当社指定のビットはすべてLタイプですのでビットピースは不要です。ビットピースはSタイプのビットを取付ける場合にご使用ください。(12ページ参照)

Lタイプ		ビットピースは不要です。
Sタイプ		ビットピースが必要です。

### 4. 釘打機・タッカ用オイル………コードNo.876212



容量 1 L

図3-4

## 用 途

○木工用ネジ（なげしビス、万能ビス）などの締付け、ゆるめ作業。

### 警 告

- ・ボルト・ナットの締付け作業には使用しないでください。  
高圧エアインパクトドライバは高トルクを発生するため、急激に回転が停止（ロック）する  
ような、ボルト・ナット締め等の作業では、ソケットが破損したり、本機ハンマ部が破損する  
恐れがあり事故の原因となります。絶対に使用しないでください。

## 作業前の準備

### ○騒音防止について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。  
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。  
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

作業前に次の準備をすませてください。

### 1. エアコンプレッサ・エアホースの準備

本機は、使用圧を一般圧のエア工具より高く設定しています。使用するときは、  
高圧釘打機用エアコンプレッサと専用の高圧エアホースを準備してください。この  
機体に使用できる高圧エアホースの内径は5mm以上です。エアホースをエアコンプ  
レッサにしっかり接続してください。

### 警 告

- ・本機は、使用圧を一般圧のエア工具より高く設定しています。高圧釘打機用エアコンプ  
レッサと専用の高圧エアホースを使用してください。
- ・本機およびエアコンプレッサ、エアホースのエアプラグ、エアソケットも専用となっており、  
一般圧のものと接続できないようにしてあるので、改造しないでください。

**注** • エアホースの長さは、30 m以内のものをお使いください。エアホースが長い  
と圧力降下をして十分な締付力が得られません。

### 2. エアコンプレッサ内のドレンを除去する………

水や油が内部にたまると、さびが発生したり故障の原因になります。  
ご使用前後には、エアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きをゆるめて、内部に  
たまつた水や油を除去してください。乾燥した清浄な圧縮空気を使用してください。  
(詳細はエアコンプレッサの取扱説明書をご参照ください。)

### 3. 安全点検

#### 警 告

- ・子供など作業関係者以外は近づけないでください。
- ・ネジ類の締め付けがゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- ・損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に動作しない部品がないことを点検してください。

21ページの「保守・点検」を参照し、必ず行なってください。

## ご使用前に

#### 警 告

- ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

### 1. 空気圧力の確認

#### 警 告

- ・本機の使用空気圧力の範囲は1.76～2.26 MPa{18～23 kgf/cm<sup>2</sup>}です。この範囲内で使用してください。

空気圧力は、ネジのサイズ（ネジ径、ネジの長さ、木材のかたさなど）に合わせて、176～2.26MPa{18～23kgf/cm<sup>2</sup>}の範囲で調整してお使いください。

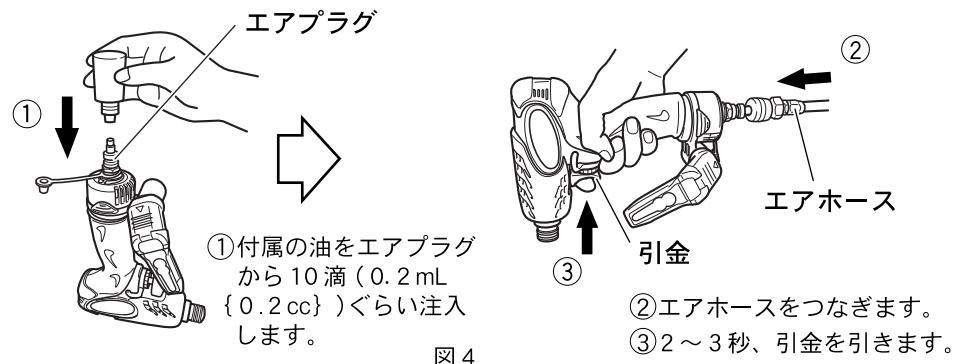
空気圧力が1.76MPa{18kgf/cm<sup>2</sup>}未満または2.26MPa{23kgf/cm<sup>2</sup>}をこえますと本機の性能、寿命、安全に影響しますので、エアコンプレッサの空気圧力、容量、配管に十分考慮が必要です。

### 2. ライト付フックの取付け

作業前に、好みにより付属のライト付フックを取付けて、ご使用ください。取付方法はP20-図17を参照ください。

### 3. 給油について

1日の作業前と作業後に必ず注油してください。注油しないとモーターがさびて回らなくなります。



#### 注

- ・マシン油、エンジンオイルなど粘度の高い油は、機械の調子を悪くしますので使用しないでください。

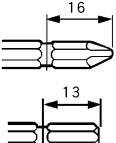
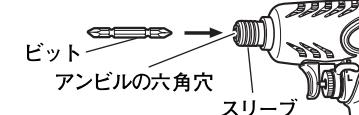
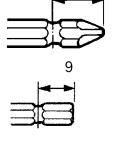
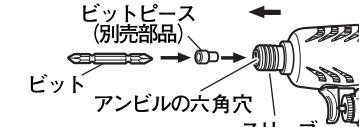
#### 4. ビットの取付け・取りはずし………

##### ⚠ 警 告

- ・ビットを交換するときは、必ずエアホースをはずしてください。

ビットのサイズに合わせて、表1の手順で確実に取付けてください。  
当社指定のビットのサイズはLタイプですので、ビットピース（別売部品）は不要です。Sタイプのビットを取付ける場合はビットピースを使用してください。

表1.

ビットの サイズ	ビット ピース	ビットの取付け方
Lタイプ 	不要	 <p>スリーブを先端側に移動させ、ビットをアンビルの六角穴にさし込み、スリーブを離します。</p>
Sタイプ 	必要	 <p>スリーブを先端側に移動させ、ビットピース、ビットの順でアンビルの六角穴にさし込み、スリーブを離します。</p>

取りはずす場合は、取付け方と逆の要領で行ってください。

注

- ・ビットを取り付け、スリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットがアンビル六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。
- ・上記サイズ以外のビット、またはSタイプにビットピースを取り付けないで無理に使用すると、作業中にビットが抜けたり、取りはずしが固くなることがあります。

#### 5. エアホースを接続する………

##### ⚠ 注 意

- ・本機にエアホースを接続するときは、引金に手を触れないでください。

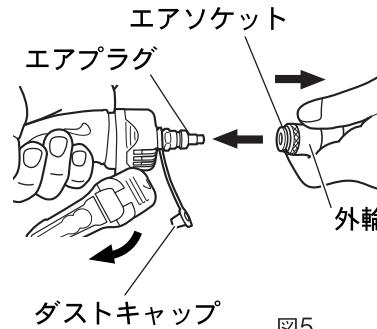


図5

ごみを本機内部に入れないようご注意ください。  
ごみが入ると回らなくなります。  
 • エアプラグからダストキャップをはずします。  
 • ごみやほこりが内部に入らないようエアプラグとエアソケットのごみをよくふき取ります。  
 • エアソケットをエアプラグにしっかりとさし込んでエアホースを接続します。

# 使 い 方

## ⚠ 警 告

- ・作業中は、必ず保護メガネを使用してください。

**注** • 低温時に使用すると、機体の動作が悪くなったり、締付時間が長くなることがあります。

### 1. 引金の操作、回転方向の切替え

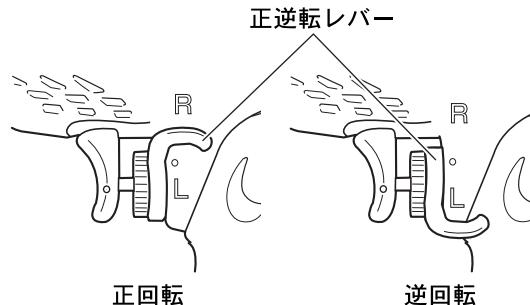


図 6

正逆転レバーをR側にすると、ビットは後側から見て右に回ります。（正回転）  
L側にすると、左に回ります。（逆回転）

**注** • 正逆転レバーは、RまたはLの位置にきちんと合わせてください。  
RとLの間にすると回りません。  
• 本機は、正回転に比べ、逆回転の出力を多少小さく設定しています。

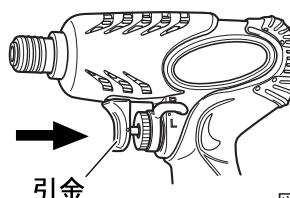


図 7

引金の引きぐあいによって、  
低速から高速まで2段階に回  
転数が変わります。  
引金を少し引くと低速回転し、  
多く引くと高速回転します。

**注** • 本機は2段変速機構を搭載していますが、スタート時にエア漏れし、回転しないことがあります。そのときは次の方法のどちらかを実施してください。  
回転しやすくなります。  
①エアホースをはずしてから、手でアンビルを2~3回、回転させてください。その後エアホースをつなぎ、引き金を引いてください。  
②エアホースをつないだまま、引き金をいっぱいに引いて数回カラ回転をさせてください。

## 2. 減圧弁について

### ⚠ 警 告

- ・使用しないとき、または作業中断時には必ずエアホースをはずしてください。
- ・使用しないとき、または作業中断時にはエアプラグにダストキャップをかぶせてください。
- ・エアコンプレッサ内の水抜きをこまめに行ってください。

本機は、高圧エアホース側の圧力1.76~2.26MPa{18~23kgf/cm<sup>2</sup>}を1.3~1.4MPa{13.3~14.3kgf/cm<sup>2</sup>}に減圧して使用する高圧用減圧弁を内蔵しています。

高圧用減圧弁内にごみなどが入ると、密封性が低下し、この状態でエアホースをつないだまま長い時間放置すると、徐々に本機内部の圧力が上がり、引金の引き荷重が重くなります。万が一引金の引き荷重が重くなった場合は、次の手順に従えば高圧用減圧弁内の密封性が元に戻り、引金の引き荷重も軽くなります。

- ①すぐにエアホースをはずします。
- ②エアコンプレッサの圧力が1.76MPa{18kgf/cm<sup>2</sup>}以上に復帰するのを待ちます。
- ③エアホースをつなぎなおします。

1回で引金の引き荷重が軽くならないときは、①~③の手順を繰返してください。それでも、引き荷重が重いままだたら、高圧用減圧弁の故障ですので、ただちに作業を中断して、エアホースをはずし、お買い求めの販売店または日立電動工具センターに修理を依頼してください。

### 3. 回転数の調整

エアレギュレータ(流量調整器)を回すことで、最高回転数を4段階に調整できます。エアレギュレータを調整して、作業条件に合った回転数でお使いください。

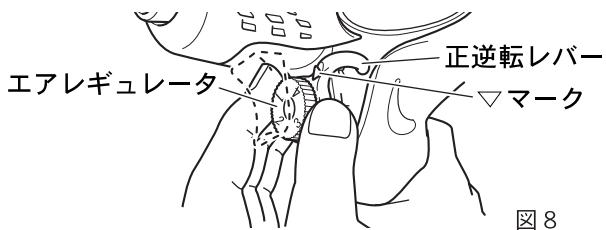


図8

- エアレギュレータを回し、目盛を正逆転レバーの△マークに合わせます。(カチッと音がします。)
- 目盛“4”が最高速で、目盛“1”が最低速です。下表を目安に調整してください。

エアレギュレータの目盛	作業(ネジ)の目安
4(最高速)	なげしビス 長さ75~120mmなど
3	なげしビス 長さ75mm以下など
2	小径ネジ 木ネジ 径3.5mm
1(最低速)	

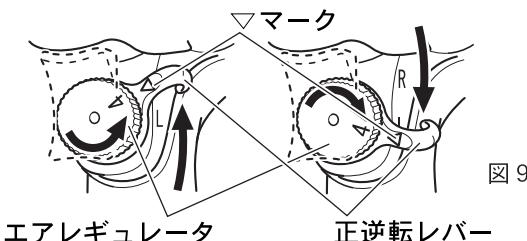


図9

正逆転レバーを切替えると、エアレギュレータもいっしょに動きますが△マークが指す目盛は変わりません。したがって、調整した回転数も変わりません。

### 4. ネジの締付け、ゆるめ操作

ネジ締め開始時には引金を少し引いて、ゆっくりスタートしてお使いください。  
押付け力はネジの頭からピットがはずれない程度の力で十分です。

- 注**
- ・締付けるネジに対し本体が斜めになりますと、ネジ頭部を傷めたり、所定の締付力がネジに伝わりません。締付けるネジと本体はまっすぐにして締付けてください。
  - ・ネジ締め作業中にアンビルが回転しなくなった(ハンマロックした)場合は、引金をもう一度引きおしてください。再び打撃するようになります。
  - ・本機は2段変速機構を搭載していますが、スタート時にエア漏れし、回転しないことがあります。そのときは次の方法のどちらかを実施してください。回転しやすくなります。
    - ①エアホースをはずしてから、手でアンビルを2~3回、回転させてください。その後エアホースをつなぎ、引き金を引いてください。
    - ②エアホースをつないだまま、引き金をいっぱいに引いて数回カラ回転をさせてください。

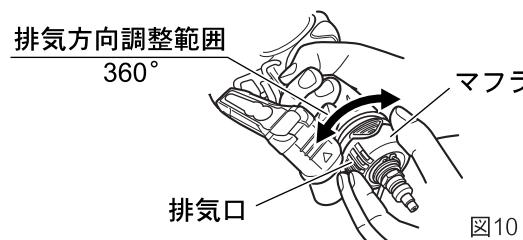
### 5. 排気方向の考え方

#### 警 告

- ・排気方向の調整をするときは、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

#### 注 意

- ・排気を人体に向けないでください。



マフラを回して排気口の向きを360°の範囲で変えることができます。

### 6. ライト付フックの使い方

#### ライト付フック

- ・作業の合間に腰ベルトなどに吊下げるフックの役目
- ・暗い場所でねじ締め作業する際の補助用ライトの役目の2つの機能を持っています。

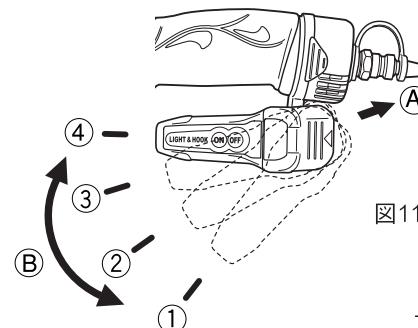
#### 警 告

- ・ライト付フックを腰ベルトに掛けて機体を運ぶときは、エアホースをはずしてください。

#### 注 意

- ・ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因となります。

#### (1) フックとしての使い方



- フックを矢印Ⓐの方向(手前側)に引き出します。
- フックを矢印Ⓑの方向に回転させます。
- 左図の①から④のいずれかの位置で、フックをはなしてください。中間の位置には調整できません。

## (2) 補助用ライトとしての使い方

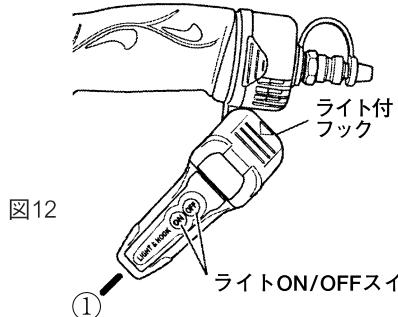


図12

- フックの位置を図中①の位置に合わせます。
- ライトのONスイッチで点灯、OFFスイッチで消灯します。電池消耗防止のため、小まめに消してください。このライト付フックには消し忘れ防止のため、15分後に自動的に消灯する回路を組み込んであります。

### ○ライトの点灯時間の目安

- 単5マンガン乾電池 ..... 約15時間（1回3分で300回）
- 単5アルカリ乾電池 ..... 約30時間（1回3分で600回）

上記時間は目安です。

また、このフックにはお試し用としてマンガン乾電池が入っています。

## (3) 乾電池の交換のしかた

### 警 告

- ・ライトの電池を変えるときは、エアホースをはずしてください。
- ・液漏れ、発熱、故障の原因になるため、下記のこととに注意してください。  
電池のプラス電極(+)、マイナス電極(-)を正しく入れてください。  
電池は2本同時に交換してください。古い電池と新しい電池を混合しないでください。  
使い切った電池は、すぐにフックから取り出してください。
- ・電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中に入れないでください。
- ・電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

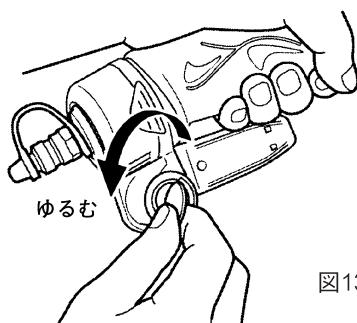


図13

- 本機をしっかりと支え、コイン（10円玉など）または、手持ちのドライバーを使用してねじをはずします。ねじをはずすとフックとスプリングがはずれます。

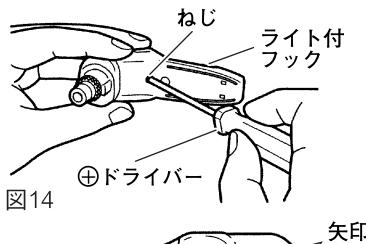


図14

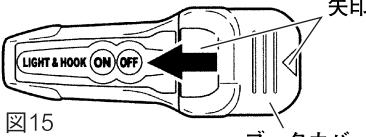


図15

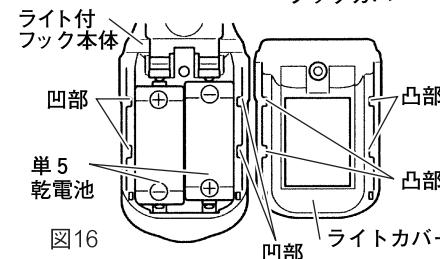


図16

- フックのねじを+ドライバー（No.1）ではずし、矢印方向へ押しながらフックカバーを取りはずします。

- 電池を取り出し、新しい電池を入れます。（フック本体の電池室の表示に合わせ、+ - を正しく入れてください。）

- フック本体の凹部とフックカバーの凸部を合わせながら矢印方向と反対方向に押し込み、フックカバーを取付け、ねじを締付けます。

電池は、市販品の単5、1.5Vをご使用ください。

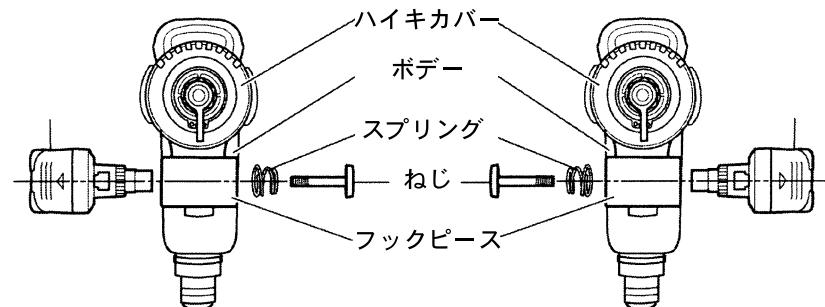
**注** •ねじの締めすぎには注意してください。

## 7. フックの向きの変え方

### 警 告

- ・フックの向きを変えるときは、必ず引金から指をはなしエアホースをはずしてください。

- フックは2方向に向きを変えることができます。向きを変えるときは、コインまたはドライバーでねじをはずし、フックの取付け位置を変えてから、再び組込んでください。



[ウラから見た図]

図17

# 保守・点検

## 警 告

・点検・手入れの際は、必ずエアホースをはずしてください。

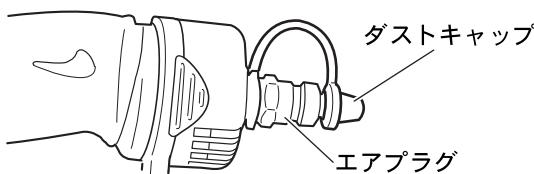
### 1. ドライバビットの点検………

先端部が摩耗したり折損したドライバビットを、そのままお使いになると、すべて、けがなどの原因になりますので、新品と交換してください。

### 2. 各部取付けネジの点検………

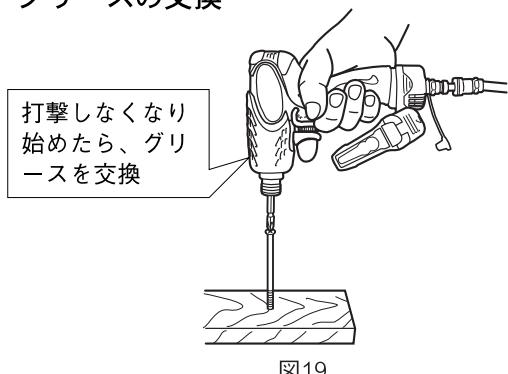
各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。ゆるんでいるところがある場合は、締めなおしてください。  
ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

### 3. ごみ・ほこりの防止………



使用しないときはエアプラグにダストキャップを付け、本体内にごみやほこりが入るのを防いでください。

### 4. グリースの交換………



締めているとき、打撃しなくなり始めましたら、グリースを交換してください。グリースの交換は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにおしつけください。

### 5. 表面のよごれ清掃………

本機の外枠のよごれは乾いたやわらかい布などでふいてください。

### 6. 正逆転レバーの取付け方向について………

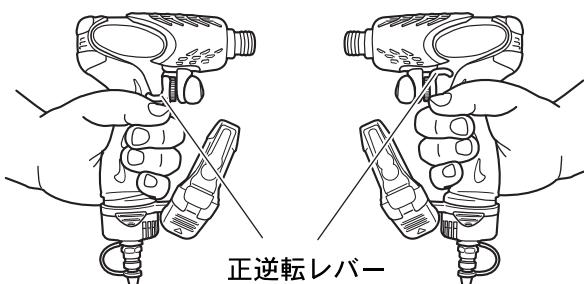


図20

### 7. 作業後の保管………

- (1) 作業後は、エアプラグ、マフラ側を下にして、内部にあるドレン（水）を十分抜いてください。
- (2) 1日の作業後に必ず注油してください。（12ページ参照）
- (3) 内部にごみやほこりが入らないよう、ダストキャップをエアプラグにさし込み、ケースに入れて保管してください。
- (4) さびを防止するため、付属の油をアンビルとスリーブに2～3滴注油してください。注油後、エアホースをつなぎ、2～3秒引金を引いて余分な油を飛ばしてください。
- (5) お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

本機は、正逆転レバーをそれぞれ反対側に取付けることができます。

組換えをご要望の際は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにおしつけください。

## エアコンプレッサと作業の速さ

### 1. エアコンプレッサの出力……………

90 mm以上の長いネジには、出力1.25 kW以上のエアコンプレッサをお使いください。

小さいエアコンプレッサでは、空気圧力が下がり、締まりません。

120 mm以上の長いネジは、かたい木材には締まらないことがあります。

### 2. 作業の速さ……………

下表に作業の速さの目安を示します。これを参考に作業してください。

ネ　ジ	休み時間	エアコンプレッサ出力
		1.25 kW
長さ 90 mm 径 4.5 mm	5秒	連続して締付け可能
長さ 120 mm 径 5.3 mm	5秒 15秒	10本まで締付け可能※(1) 連続して締付け可能※(2)

木材：米ツガ 空気圧力：2.26 MPa{23kgf/cm<sup>2</sup>} エアレギュレータ位置：4

エアホース：内径6mm×30m

休み時間：締付け終わってから次に締付けるまでの休み時間

※ (1) 休み時間5秒では短く、エアコンプレッサの空気圧力が上がりきりません。  
このため10本までしか締付けできません。

※ (2) 休み時間を15秒以上とると、エアコンプレッサの空気圧力が上がります。このため何本も連続して締付けできます。

このように、適度な休み時間をとると連続して締付けでき、作業が速くなります。

## ご修理のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがいまして、もし正常に作動しなくなったような場合には、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご用命ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）